

⑤ITなどの新技術を活用した生産や販売の実現

施設園芸用複合環境制御システム等の開発・製造・販売事業

施設園芸の生産性向上を可能にする日本の農業生産者に最適な独自の複合環境制御装置およびその機能を活かすことができる低コストハウスの改良・開発、生産、需要開拓に取り組む。

連携体

農林漁業者

イノチオみらい(株) (法人番号 6180301027776) (農業)

イノチオ農芸(株) (法人番号 4180302010650) (農業)

複合環境制御システムとその構成要素の開発において、データ取りや製品化に必要な実証を行うための圃場の提供及び、改良点のフィードバックを行うと共に、本システムにより栽培された農産物を販売する。

中小企業者

イノチオアグリ(株) (法人番号 3180301005066) (その他の小売業)

日本の農業生産者に適した複合環境制御システムと新たな低コストハウスを企画・設計・開発し、新たな販路を開拓する。

サポート機関等

豊橋信用金庫、(独)中小企業基盤整備機構中部本部

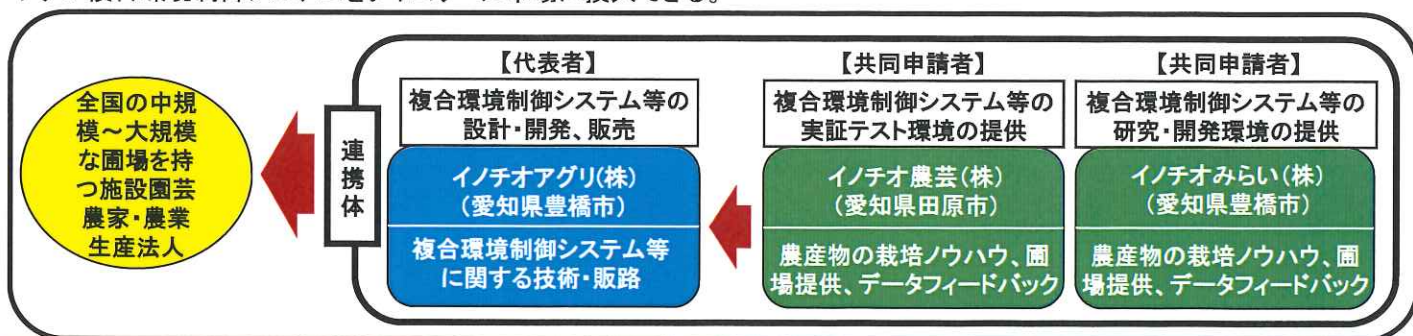
連携の経緯

愛知県豊橋市で施設園芸用ハウスを中心とした農業用資材等の製造販売を行うイノチオアグリ(株)は、オランダ製の複合環境制御システムの輸入販売を行うなかで、より日本の農業生産者(農家・農業生産法人等)の特性に適した複合環境システムの開発の必要性を感じていた。自社独自の複合環境制御システムを開発・製品化するためには、基礎データの収集や実証テストを行い、その結果を迅速に製品開発にフィードバックする必要があるため、イノチオグループ内で次世代農業の実証を行っているイノチオみらい(株)とグループ内の実践農場として農業経営を行っているイノチオ農芸(株)と連携し、それぞれが持つ圃場を使って製品開発を行うことになった。



連携に当たっての課題や工夫等

日本の農業生産者は、オランダの農業生産者と比べ、生産者当たりの圃場面積が狭く、農業生産者側の複合環境制御システムに関する経験も少ないため、より低コストかつ導入が容易な複合環境制御システムを開発することが課題となる。この課題に対し、イノチオアグリ(株)では、オランダ製複合環境制御システムの販売・導入などにより蓄積した技術やノウハウを活用するとともに、グループ内企業(イノチオみらい(株)、イノチオ農芸(株))との連携により開発のスピードアップを図ることで、低コストかつ日本の農業生産者が使いやすい複合環境制御システムをタイムリーに市場に投入できる。



連携による効果

農林漁業者

イノチオみらい(株)は本事業で、5年で32,000万円の売上高増加による収益力の向上と生産性の向上
イノチオ農芸(株)は本事業で、5年で2,400万円の売上高増加による収益力の向上と生産性の向上

新たに開発された複合環境制御システム等を導入することで、収量アップによる売上高増加と農産物の生産に係る業務の省力化により生産性向上が期待される。

中小企業者

イノチオアグリ(株)は本事業で、5年で30億円の売上高増加と新規顧客の開拓

コストや使い易さの面で導入しやすい複合環境制御システムおよびその機能を活かすことができる低コストハウスの開発・製造・販売を実施し、農業生産者が早期に黒字化できるモデルを構築し、新たな需要を開拓することで経営の向上が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名：イノチオアグリ株式会社
TEL：0532-48-4511
E-mail：info-agri@inochio.co.jp

所在地：愛知県豊橋市向草間町字北新切95番地
FAX：0532-48-4520
ホームページ：http://www.ishiguro.co.jp/